

## イラン地震救援活動

### リフォームシステム21による現地レポート

7月8日「リフォームシステム21」より3人の視察団がイラン入りをした。その後、現地でのカウンターパートとなる IIEES (International Institute of Earthquake Engineering and Seismology) と連絡を取り、7月10日より被災地カズビーンへ IIEES メンバーと共に現地入りとなった。

IIEES は防災化学技術研究所地震防災フロンティアセンターのイラン人であるコスロウ T.シャベスタリさんからの情報によるイランにある国際的防災研究所。

視察したチャングレー村は約160世帯。地震によって村は壊滅状態にある。復旧のめどはたっていない。

そしてテヘランへ戻り、IIEES と今後の協議をした。IIEES 側からの要望でチャングレー村にまず学校を建設してはどうかとの提案があった。子どもたちは約50人いる。それを受けて、村に学校を建てることを決定し、既に図面は完成している。学校建設にあたって、日本、韓国、イランの3国協働で行う事になった。名前は JIK スクールの予定。(JIK-Japan, Iran, Korea) 学校には3国の国旗のモニュメント、各国の国花を植えることを計画している。そして日本の竹も植えることを提案し、了承された。

10月以降になれば冬になり、雪が降ってくるらしいので、なるべく早く行動したい。現地へ向かう作業者としては、日本と韓国から1クルーを10日と考え、全員がずっと向こうに行くのではなく、交代でやる手法をとる。

報告会は大きなものではなく、NGO協働センターでイラン人の学生も交えてしたいと考えている。

今後は学校建設に向けての募金活動を展開する。